

「JAの自己改革に関する組合員調査」中間結果に関する 全中会長談話

現在、JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目標とする「創造的自己改革」の実践に総力を挙げて取り組んでいる。

このたび、全国のJAにおいて実施中である、「JAの自己改革に関する組合員調査」について、中間集計が完了した。

本調査は、全ての正・准組合員を対象として、JA役職員の訪問・対面により実施しており、中間集計では、実に、3,193,640名の組合員からご回答をいただくことができた。

ご協力いただいた組合員の皆さまに、心より御礼申し上げます。

中間集計であり、評価は時期尚早であるが、営農指導事業・販売事業・生産資材購買事業に関して、いずれも多数の組合員からの期待や満足、さらには叱咤激励の声をいただくことができた。

また、JAが総合事業を継続していくこと、准組合員の利用制限を行わないことについても、多くの組合員の声をお伺いすることができた。

組合員・役職員の対話こそ、協同組合運動の原点である。

今後とも、JAグループは、自主自律の協同組合として、組合員と徹底した対話を重ね、組合員の声に基づいて「不断の自己改革」に取り組む所存である。

令和元年8月8日
全国農業協同組合中央会
会長 中家 徹